

# 中学3年 社会科「私たちの暮らしと経済－生産と労働」

柏市立柏第四中学校 石塚 大介

## 1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

### (1) 単元について

本単元では、「これからの社会で、私たちはどのように経済に関わっていくべきか？」という単元を貫く課題をもとに、現在の生徒たちのような「消費者」の視点から「生産者・労働者」の視点を持てるように学習していくことで、経済分野に対する理解を深めていく流れとなっている。しかしながら、それらの学習は実体験のない生徒たちが理解するにはいささか難しい内容である。

そこで今回は、とりわけ「2節－生産と労働」において、証券知識普及プロジェクトの「株式会社をつくろう！」という教材をベースに、経済主体の一つである会社（企業）に視点をあてることによって、会社の社会的な役割と責任や株式会社の仕組み、さらには経済活動や企業などを支える金融の働きについて、体験的に学んでいくことを目的とする。

その取り組み中で想定される、得られた情報と自分の考えを比較・検討したり、まとめ・表現したりする活動を通じて、情報活用能力の育成を図っていきたい。

### (2) 身に付けたい力（情報活用能力育成の視点から）

- ・株式会社の目的や役割を理解した上で、実際の企業の取り組みなどの情報の収集を行うことで、多面的・多角的考察を行い、それを自分たちの活動に反映できるようにする。
- ・課題解決に向けて収集した情報をもとに、整理・分析を行い、その成果をスライドや pdf 等にまとめ、他者に伝えることを通じて、効果的なまとめ方や表現方法を取得する。

### (3) 学習計画（全8時間）

学習のゴール：「会社を興すための資金を調達するにはどうしたらよいか？」を解決する

	時	・学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1	・DVDとワークブックを使用しながら、「会社の目的と役割」や「株式会社と金融の関係」について学ぶ。 ・学習のゴールとなる課題を解決するために、投資家（学級生徒）に訴え、株式による資金調達ができるような事業計画を考える。 ○課題に対する事前知識を得た上で、課題解決の計画を立てる。
	2	
2 情報の収集	3	・班で設定した事業計画に関係する実際の企業の取り組みについて、インターネット等を用いて情報を収集し、そこで得られた情報を Google Keep にまとめ、班員と共有する。 ○目的に応じた情報を収集する。
	4	
	5	
	6	
3 整理・分析	7	・Google Keep に集約した情報をもとに比較検討し、実際の世の中の活動を参考にした上で、班で設定した事業計画を深め、その内

		<p>容をスライドや Adobe Express に表していく。</p> <p>○目的に応じて捉えた情報を多面的・多角的に考察しながら整理し、自分たちの考えを再構築できるようにする。</p> <p>○どのように情報をまとめると相手に伝わりやすいかを考える。</p>
4 まとめ・表現		<p>・作成したスライド等をもとに、まとめた内容を伝える。</p> <p>・発表内容をもとに、紙を使って投資体験を行う。</p> <p>○どのように情報を伝えると相手に伝わりやすいかを考える。</p> <p>○他班の発表を聞いて判断し、評価を行うことができる。</p>
5 振り返り改善	8	<p>・多く資金を集められた会社と集められなかった会社の差を考察し、課題を解決する。</p> <p>・Google サイトにまとめた各班が作成したスライド等の情報を見ながらフィードバックを行う。</p> <p>○得られた情報を使って、課題に対する考察をする。</p> <p>○発表の反省や完成した作品の比較検討を通し、自分の学習方法を振り返り、次に活かす。</p>

## 2. 実践の流れ

### ○課題の設定（1～2時間目）

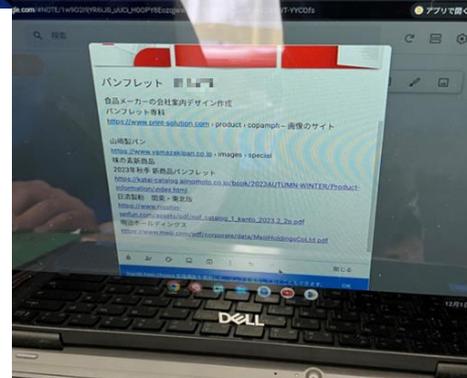
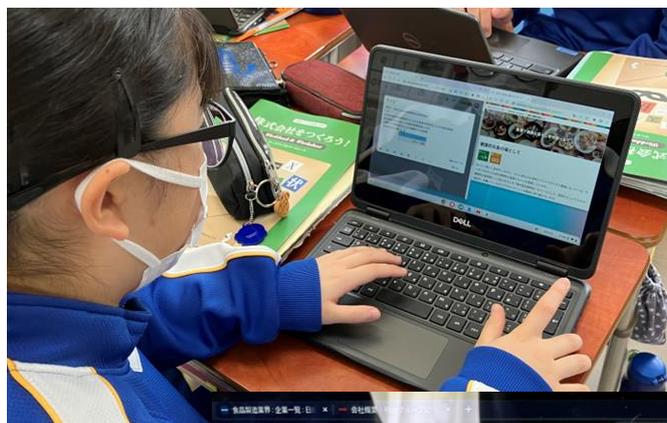
教材を使用して基礎的知識を得た上で、課題解決につながる「事業計画」を個人で考えた。その後、班で情報を共有し、その中からさらに一つの事業計画に絞り、課題の設定を行った。

### ○情報の収集→整理・分析→まとめ・表現（3～7時間目）

#### 【情報の収集】

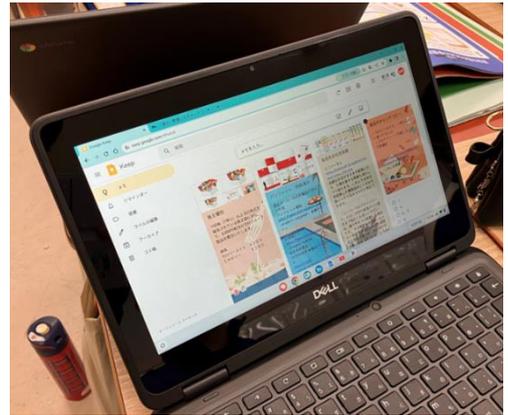
いきなり企業の話（商品や価格、キャッチコピーなど）をまとめても、現実とかけ離れた夢物語や机上の空論で終わってしまう可能性がある。そこで「市場調査」として、自分たちの事業の参考になりそうな商品・サービスの価格やPRポイント、実際の会社が行っている社会貢献活動の内容などをインターネット検索やチラシなどをもとに調べ、Google Keep に内容をまとめた（写真上）。

その際、調べた内容（参考サイトや画像、文章など）はそのまま Google Keep に記載するようにし、必要に応じて共有をかけ、誰もがそのデータを閲覧・編集できるようにした（写真下）。また、今回は特に“全員が使える情報”を集めることを意識させた。



## 【整理・分析】

役割を決め、Google Keep に集約した情報から自分の担当箇所としてまとめに使える情報を取捨選択していった。また、新たに必要な情報はその都度 Google Keep に追記した。

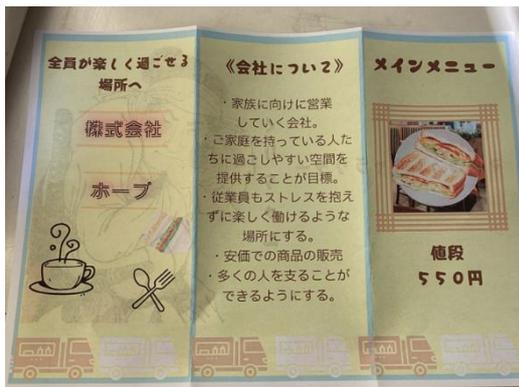


## 【まとめ・表現】

Google Keep の情報を閲覧や挿入しながら、事業計画プレゼンを行うために「プレゼンテーションシート (スライド)」を作成した。また、作成したスライドをもとにスピーカーノートを作成し、発表準備を行った。合わせて、Adobe Express を使い、会社紹介や事業の魅力伝える「会社カード (パンフレット)」と「会社ポスター」も作成した (写真下左)。

これらをもとに、「個人投資家向け説明会 (発表)」を行った。タブレット端末を Epson iProjection で投影し、スクリーンに映るスライドと手元のスピーカーノートを使いながら発表した。

(写真下右)



## ○振り返り・改善 (7時間目)

発表内容をもとに、投資 (紙の 10 万円札を封筒に入れる) を行った。その上で、投資額が一番多かった会社について分析し、課題の解決に迫った。なお、自分たちの班情報だけでなく、全クラスのスライド・スピーカーノート・会社カード・ポスターの情報を見ながら反省点や改善点が考えられるように、それらを集約した Google サイトを作成し、振り返りに役立てた。



### 実践を終えて

調べ学習を行う際、時間の制約や手間を考えると役割分担をしてから自分の担当箇所を調べ、班でまとめていくという形が一般的であると思う。しかし今回は Google Keep を活用することによって膨大な情報を扱うことができ、様々な情報を各自で調べた上で、あとから役割分担を行い、情報の取捨選択を行うことができた。これによって自分の担当外の内容も意識しながらまとめに取りかかることができ、多面的・多角的考察の一助となった。

また、今回の活動に似たものを「模擬選挙」でも行ったのだが、感想を読んでも、「選挙にいたるまでの準備の大変さ」、今回であれば「起業することの難しさや大変さ」を感じたものが多くあった。これらの感覚は、各課題に対する下調べが深かったからこそ出てくるもので、ただ調べ学習を行っただけでは感じられないものであると考える。

さらにこれまで調べ学習の際、第一に Google Keep を活用していったのだが、毎回同じような使い方をしていった結果、To do リストを作らなくても作業を効率的に行えるようになったり、前に実践してみて効率の良かったやり方は違う場面でも活用できていたり、日常でもちょっとしたシーンで Google Keep を活用する生徒が見られたりした。加えて、その他のツールにおいても使う度にそのクオリティや作業効率が上がっていった。

このように、1人1台端末を効果的に活用することで、身に付けさせたい力である「多面的・多角的考察」を深めることができ、ひいては情報活用能力の育成につながっていると考える。